

研修医・指導医リレーエッセー⑧



～住みやすい街、倉敷 食・風景・職場～

倉敷成人病センター 卒後研修センター 安井 昭仁

岡山県医師会の会員の皆様、初めまして。2024年4月から倉敷成人病センターの卒後研修センターで初期研修医として勤務させていただいております、安井昭仁と申します。

私は奈良県出身で高校・大学と大阪に住んでおりましたので、岡山県はほぼ初めての状態で研修医1年目を迎えることとなりました。そのうえ、一人暮らしが初めてでしたので不安も大きかったのですが、幸いなことに倉敷はとても住みやすい街でした。

スーパーマーケットやインテリア用品店、アウトレットモールまで揃っており、日々の買い物には困りません。ご飯処は駅前を中心に揃っており、ぶっかけうどんやチキン南蛮など、なかなか今まで食べてこなかった味でとても美味しくハマってしまいました。

景色では美観地区がもちろん有名ではあると思いますが、特に私は夕方、日没後の美観地区がすごく気に入っています。少し青みがかった空が映る水路と歴史ある建物の組み合わせは、地元在住ならではの楽しみ方ではないかと思っています。そのほか児島の周辺の山から眺める瀬戸大橋と穏やかな瀬戸内海はいつまでも眺めていられる美しさで、晴れた日の夕方は海沿いに出かけて美しい景色を堪能しています。

また、職場の環境では、当院の上級医の先生方やコメディカルの方々がとてもやさしく接してくださり、病院全体で初期研修医を育てようとする雰囲気がありました。なかでも小さい病院ならではのコミュニケーションの取りやすさは、とても良いものだと思っております。久しぶりに会った看護師さんに、今どこのローテートなのかを気にかけてもらったり、困ったことがあって声を掛けたら快く教えてくださったりと、職場でストレスを感じる事がほとんどありませんでした。

倉敷に来て1年が経ちますが、食の美味しさには目を見張るものがあります。ドライブに出かけると、海沿いの町の海鮮であったり山のほうに行けばおいしいフルーツを堪能できたりと、素晴らしい場所です。海鮮の中でも私は特にサワラの刺し身が気に入っています。大阪ではサワラを刺し身で食べる習慣があまりなく、初めて食べたときに美味しすぎてびっくりしました。なかでも倉敷駅前の『市松食堂』というところでは、脂ののったサワラを塩タタキにして出してくれるのですが、これが絶品でおすすめです＝左写真。

気が付くとあっという間に時間が過ぎ、2025年の4月か



今春、大学同期と倉敷の福山で



ら新たに2名の研修医1年目の先生が入職されました。去年、2年目の先生の背中がとても逞しく感じたことを思い出し懐かしさを覚えました。2人とも優秀な先生で今の自分が何を伝えることができるか悩むところではありますが、私も微力ながら研修医としての姿を背中ですべて示して、少しでも1年目の先生の不安な気持ちを汲んでサポートできたらと思いながら日々邁進していく所存です。

今後とも倉敷成人病センターと当院の診療活動をよろしくお願い申し上げます。

✧——… 倉敷成人病センター …——✧

下写真は、岡山県医師会主催の令和7年度「WELCOME研修医の会」に参加された倉敷成人病センターの研修医と梅川康弘院長（左から2人目）、研修指導医の吉永泰彦先生（右端）。



※令和7年度「WELCOME研修医の会」の当日写真については、

• <https://www.okayama.med.or.jp/doctors/welcome.html>

• または、

